

都営バスで燃料電池バスによる運行を開始！  
～市販車による営業運行は日本初～

東京都交通局では、このたび、トヨタ自動車株式会社が開発・市販化した燃料電池バス 2 両を導入する運びとなり、下記のとおり、平成 29 年 3 月 21 日（火）から、市販車では日本で初めて、路線バスとして営業運行を開始いたしましたので、お知らせします。

当局は、これまで、平成 15 年や 27 年の実証実験などで、燃料電池バスの市場投入に向けた技術開発などに協力してまいりました。今後も、燃料電池バスの導入を順次拡大するなど、水素社会の実現に向け貢献してまいります。



(写真) 東京ビッグサイトから出発する燃料電池バス



(写真) 燃料電池バスの左側面及び車内

## 運行概要

1. 営業運行開始日  
平成 29 年 3 月 21 日 (火)
2. 運行開始路線  
都 05 系統 東京駅丸の内南口～東京ビッグサイト
3. 主な停留所



\* 燃料電池バスの運行情報は、都バス運行情報サービス (tobus.jp) のラッピングバス検索「FC バス」で確認できます。

## 【参考】 燃料電池バスの仕組み

燃料となる水素を車載の高圧タンクから燃料電池に供給し、そこで空気中の酸素と化学反応させて作った電気でモーターを駆動させ走行します。



## 主要諸元

車両	全長/全幅/全高	10,555/2,490/3,340mm
	乗車定員 (座席+立席+乗務員)	77 人 (26+50+1)
FC スタック (燃料電池)	最高出力	114kW×2 (155PS×2)
モーター	最高出力	113kW×2 (154PS×2)
	最大トルク	335N・m×2 (34.2kgf・m×2)
高圧水素タンク	公称使用圧力	70MPa (約 700 気圧)
	タンク内容積	600L
電源供給能力	最高出力	9kW
	供給電力量	235kWh